

"Life is so beautiful. Every breath... every day of our lives... ahhh... fishing."

FISHING WITH JOHN



J O H N L U R I E
J I M J A R M U S C H
T O M W A I T S
M A T T D I L L O N
W I L L E M D A F O E
D E N N I S H O P P E R

EXECUTIVE PRODUCER: KENJI OKABE / PRODUCER: JOHN LURIE AND TAKU NISHIMAE / ASSOCIATE PRODUCER: SARA RYCHTARIK

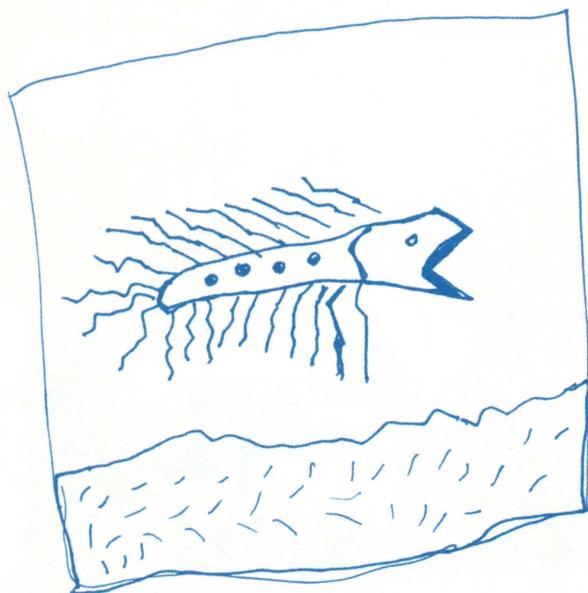
DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: JAMES HARES, YOSHIVUKI KUROSAKI, TOM KRUEGER, AND MICHAEL SPILLER

MUSIC BY: JOHN LURIE / PRODUCTION COMPANIES: LAGARTO PRODUCTIONS, INC., INTERVISTA COMMUNICATIONS, INC., AND TELECOM STAFF, INC.

WRITTEN & DIRECTED BY

J O H N L U R I E

ジャズ・グループ“ザ・ラウンジ・リザーズ”的リーダーとして、また俳優として活躍を続けるジョン・ルーリー。彼自身が演出・出演・音楽をこなしたスペシャル・プログラム『FISHING WITH JOHN』は、各エピソードごとにジョンの友人でもある素晴らしい映画人たちが登場し、ジョンと共に世界各地で冒險に満ちた釣りを繰り広げる。日本の映画ファンの間でジョン・ルーリーの存在が一躍クローズアップされるようになったのは1986年、「ストレンジャー・ザン・パラダイス」が公開された時のこと。この作品ではまず何と言っても監督のジム・ジャームッシュがNYインディーズの旗手として注目を集めたが、ヴィジュアル・イメージとして観客の脳裏に焼き付いたのは音楽を提供するとともに主演俳優としても登場したジョンの、ひょろ長い背をやや猫背気味にし、寒そうに手をズボンのポケットに突っ込んだ姿だったはず。……それから十年、その飄々とした存在感はヴィム・ウェンダースやマーティン・スコセッシといった他の映画作家たちからも重宝がられ、本職の楽曲提供以外に数々のゲスト出演をこなして映画ファンに強い印象を残し続けてきた。今回の『FISHING WITH JOHN』においても、観る者を惹きつける魅力の第一は何と言っても彼独特のどこかとぼけた持ち味と、毎回彼と共に釣りをするその仲間たちとの絶妙なやりとりの面白さという点に尽きる。ゲストとして登場するのは全部で五人。それぞれがジョンとは仕事上の接点があつたり、個人的に友人同士であるという間柄の映画人たちだが、その五人の顔触れというのが映画ファンにとっては何とも嬉しい限りだ。



Illustrated by John Lurie

監督・主演・音楽：ジョン・ルーリー

1997年／日本／カラー／ビデオ作品
製作：テレコムスタッフ、ラガート・プロダクションズ、
インタビュースタジオ・コミュニケーションズ
配給：テレコムスタッフ 配給協力：Me&Herコーポレーション

FISHING WITH JOHN

"Life is so beautiful.
Every breath...
every day of our lives...
ahhh... fishing."

episode 1：ジム・ジャームッシュ ニューヨーク州、モントーク 26min.

マンハッタンの街角で出会った映画監督ジム・ジャームッシュとジョン・ルーリー。二人が目指すはニューヨーク、ロングアイランドの先端、モントーク岬。これからふたりは獰猛な海の王者、サメをしとめに行くのだ。ジム・ジャームッシュの心の呟き、印象的な水中の様子、そして140kg級のサメとの格闘を通してヨークで結ばれていくジョンとジム。これまであまり知られていなかった二人の関係を紡ぎ出す第一話。

episode 2：トム・ウェイツ ジャマイカ、ポート・マリア 27min.

意気揚々と歌を唄いながらカヌーでジャングルを旅する男二人。ミュージシャンであり、俳優でもあるトム・ウェイツとジョン・ルーリーが、ジャマイカの碧い海でスナッパー釣りに挑むのだ。昼は船酔いにも負けず、唄いながら釣りに精を出し、夜は殺気立ったボーカーゲームに興じる二人。ジョンが魚をどう釣り上げるか情熱を傾ければ、トムは魚をどうキープするか工夫を凝らす。遊んでいてもついいつまじくなってしまう釣り師二人組の冒險旅行。

episode 3：マット・ディロン コスタリカ、リオ・デ・コロラド 24 min

無認可のセスナ機に乗り込んだ俳優マット・ディロンとジョン・ルーリーは、コスタリカの熱帯雨林の真っただ中に降り立つ。釣りの結果を暗示するかのように様子がおかしくなった馬を乗り捨て、徒步でジャングルを越え、行き着いたところはインディオの村。釣りの神様と言われる村の長老に、魚の痛みを和らげる“Fish Pain Dance”を授けられた二人は、大漁を祈願して踊り狂う。縁起を担いだ彼らの願いは天に届くのか……。

episode 4：ウィレム・デフォー メイン州、スパイダーレイク 24 min.

俳優ウィレム・デフォーとジョン・ルーリーがスノーモビルチャイスの末たどり着いたのは、メイン州最北部、見渡す限りの大氷河の真っただ中。二人は凍てつく湖上でのアイス・フィッシングに挑戦するのだ。小屋を建て、昼はひたすら釣り、夜はひそやかに語らう二人。釣れる魚を期待して、持ってきた食料はわずかにチーズクラッカーのみ。氷点下40度。十日以上に及ぶ極限の冒險の末に待っている運命は……。

episode 5：デニス・ホッパー タイ、バンコック＆ブーケット 24 min.

episode 6：デニス・ホッパー タイ、フィフィ・アイランド 24 min.

バンコックのホテルの一室で、俳優デニス・ホッパーは気が昂ぶるのを押さえることができなかった。彼はこれから選ばれし者だけが許される旅に出ようとしていた。タイ近海で最近目撃されている巨大イカを釣るために、ジョン・ルーリーとデニス・ホッパーの二人は旅立つ。海賊が横行する危険地帯を果敢に前へ前へ。不思議な行動を繰り返す水先案内人。謎の仏教寺院。終わり無き釣りromanを求めて、美しいアンダマン海を二人の冒險は続く。

6/30 tue. ⇒ 7/17 fri. KYOTO ROAD SHOW!!

■プロ=episode1~3 旧プロ=episode4~6(プログラム別料金制)

6/30㈬▶7/4㈰ 7/5㈪▶10㈮ 7/11㈫▶13㈰ 7/14㈮▶17㈰

■プロ 朝11:00 晩12:30 夜9:05 —

■プロ 晩12:30 — — 夜9:05

■特別鑑賞券1,200円 発売中 ■

(当白／一般1,500円、学生1,300円の外)

劇場窓口、河原町ビル、チケットぴあ、チケットセン、ローソンチケット他にて

連 続 鑑 賞 6/30㈬～7/4㈰の期間に1日でA、B両プロ

割引サービス 覧の方は、Bプロを1,000円に割引します。

京都みなみ会館

九条大宮・近鉄東寺駅西へ150m 075(661)3993

お問合せ(RCS)075(342)4050